

糖尿病サポートチーム通信 ～糖尿病とともに～

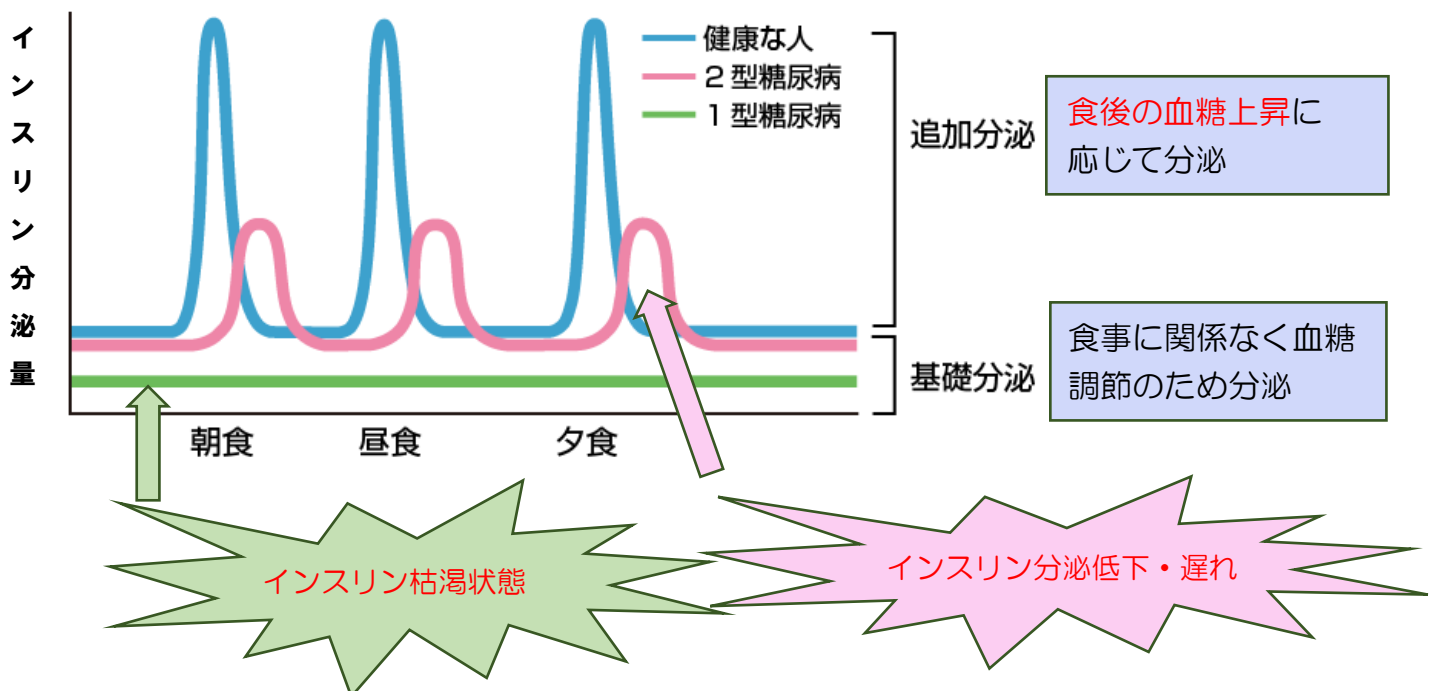
まだまだ寒さが厳しい2月になりました。この時期は年明けの食生活の乱れや寒さによる運動不足などで血糖コントロールが乱れやすいと言われています。今一度、ご自身の糖尿病治療について確認してみましょう。今回は薬物治療のインスリンについてご紹介したいと思います。



○インスリンとは？

私たちの膵臓から産生されるホルモンです。インスリンは血中の糖分をエネルギーとして利用したり、体内に貯蔵することで血糖値を下げる作用があるため、**血糖コントロールの要**となっています。

○健康な人と糖尿病患者さんのインスリン分泌パターン



○インスリン適応になるのはどんな人？

- 1型糖尿病
- 2型糖尿病(内服のみでコントロール不良の場合)
- 手術前後
- 妊娠中



○インスリン作用時間

分類	作用動態モデル (時間)														
	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28
超速効型															
速効型															
中間型															
混合型															
持効型溶解															

異なる作用時間のインスリンを組み合わせることにより、**健康な人と同じインスリン分泌を再現することが可能です。**

○インスリン治療中は低血糖に注意！

血糖値が下がりすぎてしまった時に動悸や冷汗・ふるえなどが自覚症状として現れる可能性があります。インスリン治療中の患者さんは**常にブドウ糖と一緒に携帯**するようにしましょう！！

